

道徳教育の全体計画の作成 P. 2

高等学校学習指導要領総則 第1章第5款の3の(4)

(4) 全教師が協力して道徳教育を展開するため、第1款の2に示す道徳教育の目標を踏まえ、指導の方針や重点を明確にして、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、その全体計画を作成すること。

道徳教育の全体計画とは

学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画

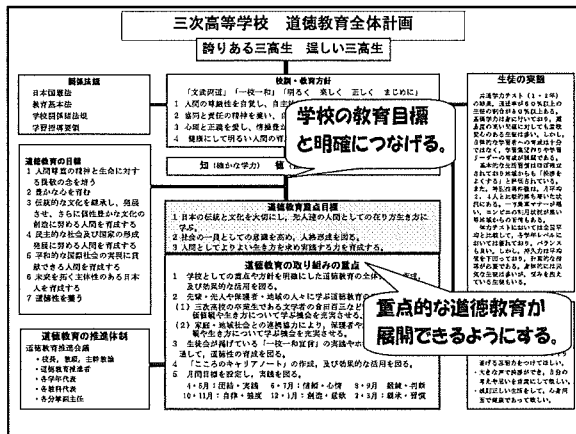
〔高等学校学習指導要領解説 総則編 P63〕

【参考資料】

平成21・22年度「道徳教育実践研究事業」推進校
 県立三次高等学校
 道徳教育の全体計画

道徳教育の全体計画の基本原則

- (1) 理念性
- (2) 構造的性
- (3) 一貫性
- (4) 柔軟性



(1) 道徳教育についての共通理解

高等学校学習指導要領解説 総則編 P18

道徳教育は、豊かな心をもち、人間としての在り方生き方の自覚を促し、道徳性を育成することをねらいとする教育活動である。

※道徳性とは「道徳的諸価値が一人一人の内面において統合されたもの」といえる。

【道徳性を構成する諸様相】

P. 1

道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度
 高等学校学習指導要領解説 総則編 P25

(2) 道徳教育の展開例

「ドナーカード」 3-(1) 生命尊重

出典：中学生の道徳「自分を考える」道徳教育図書 第3学年
朝日新聞投書欄から

- 「娘をドナーに私は出来ない」 Aさん(主婦)
- 「家族の場合に迷う臓器提供」 Bさん(医学部講師)



- ・Aさんが、「娘をドナーに出来ない」というのはなぜだろう。
- ・Bさんが、自分の臓器提供には肯定的なのに、妻の臓器提供には否定的なのはなぜだろう。
(自分勝手をキーワードに補助発問)

取組み上の考え方

道徳が「オ

- 道徳的価値観を深めていく上で大
- 他者がわかる(自分以外の人の感じ方・考え方・生き方等がわかる)
- 自分がわかる(時として気付いていない自分の感じ方・考え方等がわかる)

①教材の開発と活用

②話し合い活動

③書く活動(→ファイリングによる振り返り)

④体験活動(→体験の経験化) など

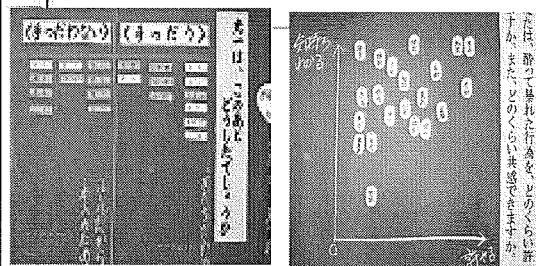
①教材の開発と活用



【大型絵による資料提示】

【ペーパーサートによる資料提示】

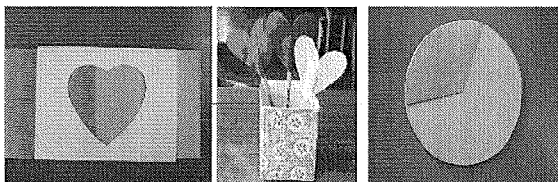
教具の工夫例



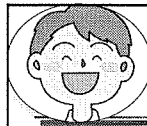
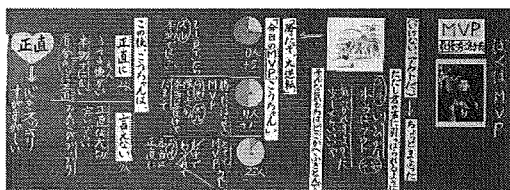
横軸での活用

横軸・縦軸での活用

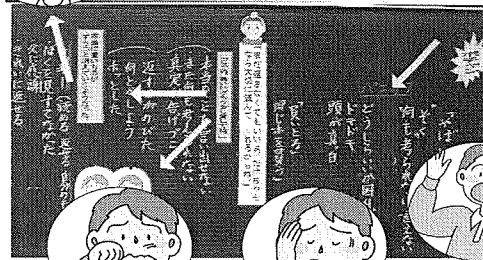
【ネームプレートの活用例】



【カラーカードや心情グラフの例】



心情曲線や場面絵で気持ちを表現した板書



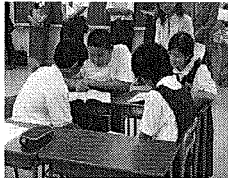
②話し活動 一場づくりの工夫例一



【コの字型】

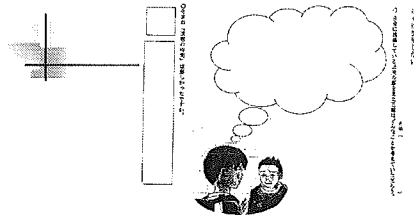


【円形型】



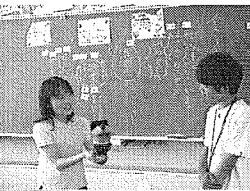
【小集団型】

③書く活動 ワークシートの工夫例一



- 登場人物の顔の絵などに吹き出しをつけた形式
- 自分のことを伝える手紙の形式
- 作業的、ゲーム的な内容を組み入れた形式
- 自己評価欄や自分の考えをマークできる欄を置いた形式
- 文字だけではなく、絵や記号等で書くことのできる形式など

④体験活動 一動作化等の工夫例一



各学年の重点目標			
1 学年会 自覚（新す） ○三学期としての自覚をもたず、進級から進級を期する生徒を育成する。 ・仲間を尊重する態度を養う ・お互いの学習態度を醸成する ・健康に留意する態度を養う	2 学年会 誇り（育む） ○三学期としての誇りが持てる生徒を育成する。 ・仲間を理解し、信頼し、協力する ・自覚的意欲的な学習態度を醸成する ・心を鍛える態度を養う	3 学年会 責任（果たす） ○三学期の最終学年としての責任ある行動がとれる生徒を育成する。 ・一校一科を愛護し、生徒間の絆を深める ・自己の進級や進級を期す ・誇りある三学期・進級三学期を実現する	
子供の取り組み ・あいさつ、挨拶の徹底 ・学習ガイダンス、学習自覚の策定 ・学習リーダーの育成 ・「おはる（一）」の発表（特別の自由利用） ・「風のやなぎ」・高杉流（仮の経典書）	子供の取り組み ・あいさつ、挨拶の徹底 ・自覚的 ・海外課 ・文芸部 ・書道部	子供の取り組み ・あいさつ、挨拶の徹底 ・生徒会 ・生徒会 ・生徒会 ・生徒会	
全教育活動での取組みの方向を示す。			
各教科	総合的な学習の時間	特別活動「一校一科」	部活動
特に関心のある「現代社会」及び「倫理」、特別活動にはそれぞれの目標に「人間としての在り方生き方」を掲げており、これらを中核的な指導の場面として重視し、道徳教育の目標全体を踏まえた指導を行う必要がある。（学習指導要領解説総則編 P19）			

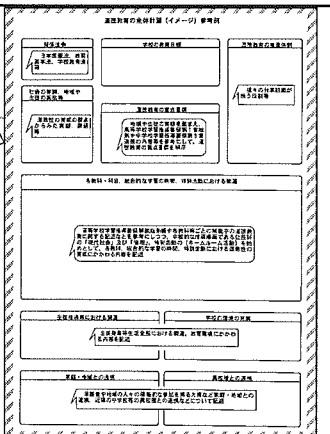
道徳教育の全体計画 (イメージ) 参考例

文部科学省による

学校通信に掲載したり、ホームページで紹介したりするなど、積極的に公開していくことが求められる。

「高等学校学習指導要領解説 総則編 P64」

○その他
重点的指導に関する添付資料等



高等学校における道徳教育の充実に向けて 一 道徳教育の全体計画の作成を通して一

- ◆ 校長を中心として、全教師でプランを作成する。
～ 共通理解、小・中学校の道徳教育を基礎として～

「自分の人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何か」

- 自分自身や自己と他者との関係、さらには広く国家や社会について関心をもち、人間や社会の在るべき姿について考えを深める
- 自己の確立、自らの人生観・世界観ないし価値観の形成

- ◆ 学校の教育目標と明確につなげる。
- ◆ 重点的な道徳教育が展開できるようにする。
- ◆ 全教育活動での取組みの方向を示す。
- ◆ 家庭・地域社会、近隣の諸学校との連携を図る。
- ◆ 評価・改善をしていく。